

営農だより 第6号



発行 令和8年7月3日
北駿産米改良推進協議会
JAふじ伊豆御殿場営農経済センター
TEL:0550-84-4820

- 目標** { ①「米ぬか入り肥料」の施用により、循環型農業の実践
② 粒張が良く、食味値 80 点以上の良食味米

～中干し以降の水管理で粒張りの良いお米を作ろう。
カメムシ防除を徹底し、品質向上を目指しましょう!!～

今年の6月は平年並みの気温で推移しました。しかし6月中に3つの台風に見舞われ、降水量は多く日照時間は平年を下回りました。今後も局所的な降雨や高温が予想されており、湿度が高く気温が高いと熱中症のリスクが高まります。体調管理に気を付けましょう。

現在の生育状況は11.3葉であり、これは例年と同程度の生育ステージとなっています。ただし5月の好天により生育が促進され、茎数が例年と比較し多い傾向となっています。また、すでに幼穂が確認できるほ場も散見されています(7月1日時点)。今後の天候によっては草丈や茎数の生育がさらに促進され、茎数過多も相まって栽培後半に肥料切れを起こすほ場が発生する可能性も考えられます。生育診断を実施し、必要に応じて穂肥の散布を行いましょう。また、間断灌水を徹底して根を活性化させましょう。

稲こうじ病の防除はできましたか? 出穂前 30 日に降雨が多い年は稲こうじも発生しやすくなりますので昨年発生した圃場は必ず防除しましょう。また品質を落とさない為に**カメムシ防除をしっかりと行いましょう!**まずは畦畔の草刈りを出穂 10 日前までに終わらせ、収穫 2 週間前まで草刈りを行わないで下さい。その上で、薬剤防除を徹底しましょう。

穂ばらみ期から出穂期にかけては稲体が水分を多く必要とします(詳細は裏面へ)。中干しも重要ですが、この時期は土壌水分が不足しないようにして下さい。その後は適切な間断灌水の徹底により稲体を最後まで健全に保ち、登熟を向上させ粒厚の充実した良食味米の収穫を目指しましょう!!

【御殿場の気象】アメダスデータ御殿場

項目 期間	平均気温 (°C)			日照時間 (hr)			降水量 (mm)		
	本年	平年	差	本年	平年	%	本年	平年	%
4月 計	13.7	11.5	2.2	161.8	161.3	100.3	328.5	252.6	130.0
5月 計	17.2	15.9	1.3	201.0	158.6	126.7	264.0	243.7	108.3
6月前半 計	18.3	18.4	▲0.1	53.6	60.8	88.2	142.0	120.6	117.7
6月 16～20 日	20.4	19.4	1.0	25.1	15.4	163.0	65.5	61.0	107.4
21～25 日	20.2	20.0	0.2	11.2	13.4	83.6	72.0	64.0	112.5
26～30 日	20.4	20.8	▲0.4	4.0	13.4	29.9	179.5	66.9	268.3
6月後半 計	20.3	20.1	0.2	40.3	42.2	95.5	317.0	191.9	165.2
6月 計	19.3	19.3	0.0	93.9	103.0	91.2	459.0	312.5	146.9

【管内水稻生育状況】

最終目標茎数 324 本/㎡

7月1日(水)現在

場所	標高 (m)	播種 日	田植 え日	茎 数 (本)	茎数/ ㎡	目標茎 数 (%)	分けつ 数(本)	草丈 (cm)	葉 齢	葉 色
神山	280	4/13	5/6	26.9	476	146.9	7.9	52.5	11.0	4.3
吉久保	370	4/5	4/30	29.2	457	141.0	8.8	60.2	12.1	4.2
大堰	400	4/4	5/4	35.6	546	168.5	11.5	57.9	10.9	5.1
用沢	460	4/14	5/9	28.8	438	135.2	7.4	54.8	11.3	4.7
中畑	550	4/5	5/5	36.8	572	176.5	10.2	53.4	11.5	5.5
上柴怒田	610	4/11	5/10	37.8	520	160.5	11.8	56.7	11.1	5.5
平均				32.5	501.5	154.8	9.6	55.9	11.3	4.9
R7 平均				26.4	416.2	128.5	8.1	67.6	11.8	4.3

生育診断・出穂期診断を行いましょう!!

今年は分けつが多いほ場が見受けられます。分けつが多いと肥料の消化が早まり、栽培期間後半に**肥料切れになると高温障害を受けやすく、品質低下や収量減少の要因**となってしまいます。生育状況を確認し**肥料切れを起こさないよう、必要に応じて適期適量の穂肥を施用**しましょう。

○米の精肥料 7 号及び有機ペレット 621 を使用しているほ場

本来であれば穂肥は必要ありませんが、**下記の場合は施用をお願いします。**

茎数(株間 18 cm)	茎の太さ	葉色	穂肥
500 本/㎡以上(27 本/株)	細い	4.3(SPAD35)以下	適期に散布
400 本/㎡以下(22 本/株)	細い	4.3(SPAD35 以下)	早期追肥

○基肥+穂肥体系のほ場

下記を参考にして適期適量散布しましょう。

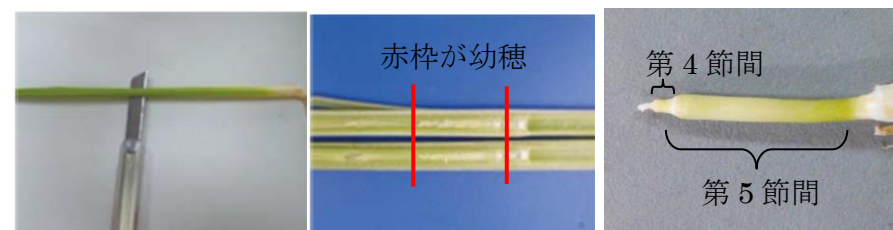
肥料名	散布適期	散布量(10a 当たり)
マップ 456(化成)	出穂 18 日前(幼穂 10 mm)	20kg(N=2.8kg)
有機アグレット 727(有機)	出穂 23 日前(幼穂 3 mm)	34kg(N=2.4kg)

☆茎数/㎡当たりの算出方法

- ①11 株間を測定(株間 18 cm の場合 180 cm=0.18m) ②1 株当たり平均茎数(22 本とする)
 $1 \div 0.18\text{m(株間)} \div 0.3\text{m(畝間)} \times 22 \text{ 本(1 株当たり平均茎数本)} = 407.4 \text{ 本/㎡}$

☆幼穂から見る出穂期

幼穂長	1mm	2mm	3mm	4mm	5mm	10mm	25mm	50mm
出穂前日数	28	25	23	21	20	18	15	13

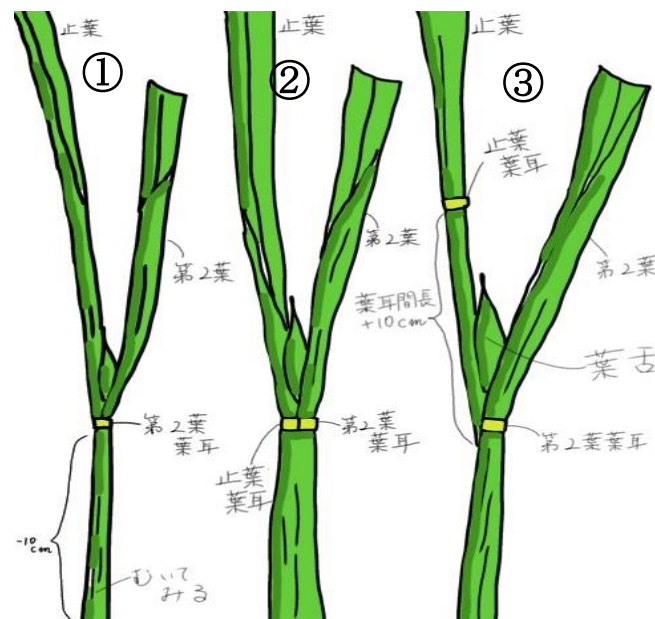


・葉色が濃く、葉の伸びが大きい
・第4・5節間が伸びている
上記の稲は倒伏の危険がありますので、穂肥を施用する場合はご注意ください。

【葉耳間から予測する出穂時期】

- ①止葉の葉耳が中に入っているの
むいてみる。
葉耳間長－10cm ⇒ 出穂 15 日前
- ②止葉と第 2 葉の葉耳が重なった時。
⇒ 出穂 10 日前
- ③止葉の葉耳が第 2 葉の葉耳の上に
出ている。
⇒ 出穂 5 日前

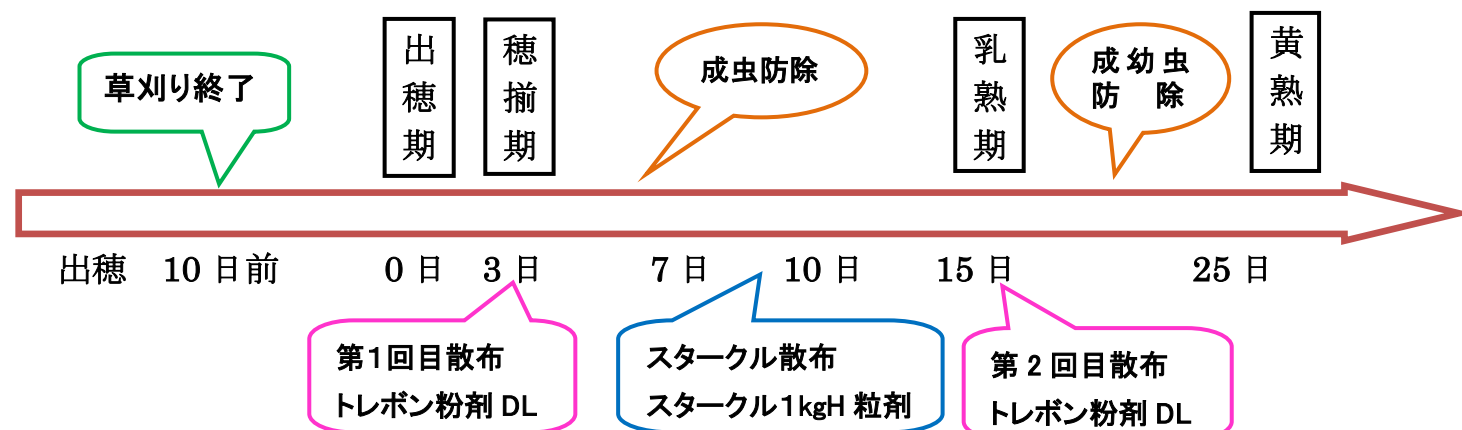
※葉耳間長：止葉の葉耳と 2 枚目の葉耳の間の長さ



【カメムシ防除を行って下さい!!】

畦畔及び水田周辺の除草はカメムシ類の密度低下に有効です。出穂直前または出穂以降の除草はカメムシ類を水田内に移動させてしまう可能性がありますので、出穂の 10 日前までには畦畔の除草作業を終了させましょう。

また、カメムシが多発するほ場は、穂がほ場全体で 80%～90% 出た時期(穂揃期、成虫侵入期)。それから 7～10 日後(幼虫ふ化期)の 2 回薬剤散布を行うと効果が高いので必ず行うようにして下さい。



※トレボン粉剤 DL はほ場全体・畦畔・農道等カメムシの生息している場所にくまなく散布。一般の粉剤と比較し見かけ比重が大きく流動性が良いので、散布機の開度を 1 目盛り程度にしぼる。

※スタークル 1 kgH 粒剤の散布のポイント

浅水（田面が露出しない程度、水深 3 cm 以内）で散布する。深水（5 cm 以上）や乾燥は避ける。田全体に均一に散布する。畦畔周りだけでなく田中央部までしっかり散布。出穂後 7～10 日後が散布適期。散布後 7 日は落水しない。（自然落水は OK）

薬 剤	使用時期	使用量 (10a)
トレボン粉剤 DL	穂揃期と乳熟期の 2 回	3 k g
スタークル 1 kgH 粒剤	穂揃期以降（出穂 7～10 日）	1 k g

どちらか散布

適正な水管理により品質低下を防ぎましょう!!

中干し終了後は生育状況に適した水管理を行いましょう。

出穂前後は稲が一番水分を必要とする時期です。この期間は土壌水分が不足しないよう気を付けましょう。その後、酸素供給も兼ねて適切な間断灌水を行い、稲体を健全に保ちましょう。

出穂 15～5 日前

この時期は 1 穂粒数が減少しやすい時期です。
水を切らさないように注意しましょう。

穂ばらみ期～出穂期(ほ場の 5 割程度出穂した状態)

稲体の水分蒸散量と酸素消費量が最大となります。
湛水状態を保って下さい。

出穂期以降

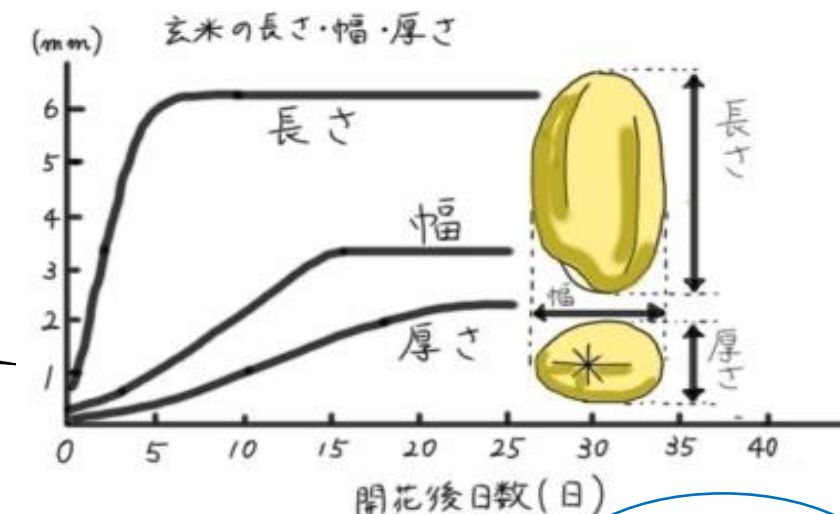
酸素も必要になる時期です。間断灌水を実施しましょう。

この時期に 1 穂粒数が減少する要因

- ・日照不足
- ・栄養不足(茎数と栄養のバランス)
- ・水分不足によるストレス

出穂後の水分の役割

玄米の大きさは出穂してから約 4 週間で決まります。この間は土壌水分が不足しないようにします。



高温時の水管理(乳白米対策)

①夜間の水のかけ流し(走り水)により、ほ場温度を下げる。

(昼間のかけ流しは不要)

②落水時期を遅くする。(少なくとも出穂後 25 日以降の落水とする)

※用水は限りあるものです。地域で素晴らしい米を作るために、川下の生産者にも水が行き渡るように協力しましょう。

湿田については収穫作業を見据えた管理を優先して下さい。

出穂期以降の水管理

出穂期から落水時期までは 2～3 日で水がなくなる程度に入水し、自然落水後、田面が乾く前に入水して下さい。